

紙用院書文同亞東

支那ノ排日排貨現況一斑

一 日支交渉ノ關係ヨリ惹起セル支那人排日惡感ハ
彼救國貯金會國貨愛用會(乃チ日貨排斥)
ニ藉リテ表現シ長江水域及南支地方共其勢益
熾ナリ其之ヲ致セル發動力ハ支那政府ノ裏面煽動
支那商賈一部ノ後援(支那賣藥商其他日商
品ト競争ノ地位ニアル支那商等此機ヲ利シ自己
ノ商路ヲ拓クカ爲メ滋擾ノ徒ニ賞ヲ與ヘテ日貨排
斥ノ働作ヲ援助シタリ)書生ノ慷慨革命徒ノ陰謀
独人ノ鼓勵ト交渉ノ長期ニ亘リタルト因ルモノト認ム
一 此排日ノ實ニ袁總統ノ心事ハ陰ニ商務總會ヲ利用

紙用院書文同亞東

三國貨愛用獎勵及救国貯金會等ノ名ノ下ニ日貨
排斥ノ実ヲ行ヒ其心理ノ幾微ヲ利シハ以テ日支
交渉ニ関スル国民對政府攻撃ノ鋭鋒ヲ避ケニ以
テ對外愛国心ヲ振起シテ對内策ニ便シニ以テ自
己ニ對スル国民ノ信賴心ヲ鞏固ニセントスルニアルモノ如シ
一、這回ノ排日觀念ハ從前ノ如ク一時ノ地域ニ止マラス其範圍
甚ク汎ク又多少根底アリ是レ彼革命後支那人民ノ
智識一般ニ邊鄙ノ下層百姓ハ今尙殆んど旧時ニ異
ナラズ著レク進歩セルノ結果ナルヲ以テ適者ナル道ヲ尽
スニアラスハ其勢容易ニ熄滅セザルヲ以テ(支那人民智
識觀念ノ進歩變化セルノハ彼要序禁不止ノ七分迄實

紙用院書文同亞東

行ニ連セル耶教ト人民滋擾ノ根絶セル、文字ナキ下層
民常識^備進歩セルニ懸念ルモ明カナリ是レ三百万ノ
滿人ノ為メ三百年間抑壓セラレタル四億方漢人滿朝
ヲ推倒シテ漢人自己ノ天下ニ復セル場合其心理状態
ニ大變化ヲ来セルニ因由スル所ナリトス

一、日英排外ノ現情タル上海ノ如キ條約調印後今日却
テ交渉危迫ノ際ヨリ甚シキモノアリ是レ支那輿地
需要地方ニ排日惡感ノ勢逞シテ傳播シ居ル為メニ
商品ヲ注文シ来ラサルニ因ルルキモ亦其排日惡感ノ甚大
ナルニ因ラスレバアラス其一例ヲ挙ゲ日本綿糸ノ如キ支
那綿糸ニ比シ品質良、價格廉トシテ商談ヲ試ルニ之ヲ

紙用院書文同亞東

顧ミスレ支那綿糸ノ品質劣レル價額貴キモノヲ買去
リフ・アリ此ノ如キニ從來排日排貨ノ場合ニ於テ嘗テ見
サル所ノ現象ナリ

一、排日悪感ノ方面ヲ大別シテ五種界トス官界側、商
界側、書生界側、下層労働界側、革命党系者流
是レナリ今此各界排日悪感除却ノ道ヲ考フルニ

一、官界悪感ノ除却先ツ袁總統及中央大官ヨリ之ヲ
融和シ之ヲ地方官界ニ及スヘキヲ（日前途中ヨリ奉
呈セル善後案參照）

一、支那商人ハ自己收利上ノ關係ヨリ中心長ク排貨ノ継続
ヲ願フモノニアラズ故ニ官憲側ノ力ト支那新庫利用金融

紙用院書文同亞東

機關其他ノ實業合辦等ノ道ニ依テハ其惡感ヲ
除却シ得ルヲ却テ比較的速カラシム(同上善後案考
照)

一、書生ト女性ノ歡心ヲ得ルヲ古來支那政治家ノ一大秘訣
トスル所ニシテ書生ノ勢力ノ支那國家統治上ニ大關係
アルヲ知ルヨシ今此書生界ノ排日惡感ヲ除却スル
ニ支那新聞ノ利用、儒教大學ノ合辦ト駐日支
那學生ノ關係最モ大ナリ而シテ其惡感カノ根底深
クシテ除却ノ困難ナルハ此書生界ヲナラシム(同上善後策
參照)

一、下層勞働者ノ如キハ其範圍ハ概シテ南洋ニ止マル

紙用院書文同亞東

而シテ如上三界者ノ悪感除却スルニ至ラハ自ラ清滅
スルモノトス

一、革命徒者流ハ乱党トシテ一般人民ノ嫌厭スルモノナルカ
故ニ自ラ滋擾ヲ發起スルノカナリ唯昔間ノ不徳滋
擾ニ際シ之ニ乘ヒテ其氣勢ヲ添ユルニ過カサルヲ以
テ大勢安定スルニ至レハ自ラ屏息スルモノトス

以上

東京

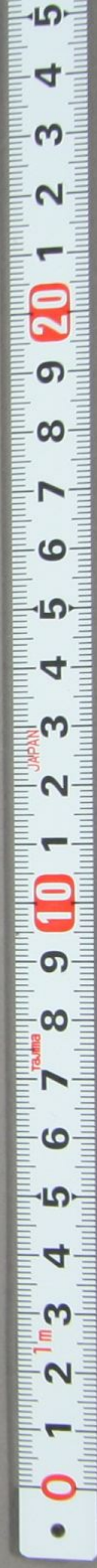
首相官邸

大隈首相閣下



秘親展 明治廿八年八月六日

書留



大正四年六月九日



支那上海

東亞同文書院

根津一